



本山慶讃法要に順慶寺門徒から団参された皆さん（4月19日、東本願寺にて）

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2023年(令和5年)

5月号

VOL.355

◆◆ 50年に一度の大法要 ◆◆

五十年に一度の大法要。大谷派では、宗祖御遠忌、蓮師御遠忌、そして宗祖御誕生・立教開宗の法要である。この度、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年法要に順慶寺からは、4月19日にバス一台・三十二名で本山・東本願寺に団参した。

◆ 腹をたてたものが自滅する ◆

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より、
「汚れなく、清く
咎のない人を傷つける人には
災いが戻ってくる。
風に向かって投げた塵のように」(一二五偈)
という一節からの引用です。

今月のお言葉は、仏教でよく言う「自業自得」ということを教える、有名なお話に出る一節です。

昔、釈尊が祇園精舎に滞在しておられたとき、コーカという獵犬を使う獵師がいました。ある日の朝早く、コーカが森に獵に出かけると、道の途中で、早朝の托鉢のため歩いている比丘を見かけ、今日は遇ってはいけない人に遇ってしまったと残念に思いました。

案の定、その日の獵は不獵で、何も獲物が得られなかったので、心の中で、比丘を怨んでいました。すると、そこに、托鉢を終え、瞑想に入るため精舎に戻ってきた比丘と再び遭遇しました。そのとき、思わずコーカは、

今月の釈尊の言葉



咎のない人を傷つければ 災いもどってくる

◆ダンマパダ(法句經) 第二五偈より
ある獵師が、釈尊の弟子が来る度に獲物が獲れないことに仕返しをするが、逆に自分が報いを受ける。



若院のテーマカット NO.48



「今日、お前に出くわしたために何も獲物がなかった。かわりに、私の犬にお前を喰わしてやる」と、いきなり獵犬に比丘を襲わせました。比丘は、慌てて木の上に登りましたが、木の下に獵犬が取り囲み、大声で吠えかかりました。コーカは、「もう、お前に逃げ道はない」と、鍬で比丘の足を突き始めました。
ところが、鍬を何度も突き刺しているうちに、比丘の衣にひっかかり、衣が脱げて、コーカに覆い被さりしました。その時、何を間違えたか、獵犬たちが衣をめがけて飛びつき、コーカを食べ始め、ついに骨だけにしてしました。

目の前のあまりの光景に、比丘はシヨックを受け、釈尊に、自分のためにコーカが死んでしまったと懺悔しに行きました。

その時、釈尊は、「彼は、罪のないものに腹をたてて破滅したのです」と諭されました。

◇ 自業自得の道理 ◇

善いことをすれば、善い結果となる。これは、仏教の教えの基本です。

しかし、私たちは往々にして、善い結果になることばかりを思って、欲をはたらかせません。欲は、やがて執着となり、善い結果が起らないと、怒りや憎しみがわいて来ます。

また、善いことをしている人が、努力しない人を軽蔑することもありますが、たとえ善いことをしたと知っている人

がうまく行っても、結局有頂天となり、嫌われ者になり孤立していきます。

親鸞聖人は、ご和讃で、「②自力作善のひとはみな仏智の不思議をうたがへば

自業自得の道理にて七宝の獄にぞいりにける」とおっしゃっています。善いことをしようとして、自力をたのむ人は、

自業自得の通りで、見た目は美しい七宝で造られた牢獄に入ってしまう。

つまり、善いことをしたと思って、自分だけいい気になると、他を見下したり、努力しない人に腹をたてるようになっていくと教えて下さいます。

意外にも、自分は善いことをした(自力作善)と思って、努力しない人に腹を立てると、やがて、先ほどのコーカのような骨だけにされるのは、自分自身なのかもしれません。

結果であるから、あきらめるより仕方がないという宿命論的な意味に解されるにいたった。(岩波仏教辞典より)

②【自力作善】

自分の力で善を成し遂げようとする

こと、独力で善を成し遂げられると思うこと、を意味する語。親鸞が「歎異抄」の中で「他力本願」と対比させ宗教的には正しくないあり方と説いた。(実用日本語表現辞典より)



大河ドラマの「どうする家康」で、三河の一向一揆がでてきたけど、順慶寺は関係あったんでしょうか。



大河ドラマの「どうする家康」は、なかなかの人氣らしいですね。「鳴くまで待とうホトトギス」と言われた沈着冷静な家康とはひと味違うタッチで描かれているのがいいのでしょうか。

三河一向一揆は、三河を治める家康が、お寺に与えられていた役人の立ち入りを免除される特権(不入の権)を解除すると通達したことに端を発します。三河には、有名な三ヶ

寺(本証寺、勝鬘寺、上宮寺)などがあり、大変な権力を持っています。その勢力が中心となり、家康に對抗したのが三河一向一揆です。テレビを見ていたら分かりますね。

三河の本願寺門下の寺院は、ほとんど一向一揆に関わったと言っていると思います。順慶寺のある、泉田町は、絵下城に矢田作十郎という城主がおり、かなりの勢力があったようです。そのためか、家康の重臣であった、渡辺・蜂谷・石川の三武士が護っていた蓮如上人の絵像を、地理的に岡崎から離れている順慶寺が預かって、お護りすることになりました。

その後、矢田作十郎は、一向一揆の際に小豆坂の戦いで討ち死にし、逆賊の汚名のままになりました。順慶寺も、それから百年ほど浄土真宗から改宗していたようです。

《第三十七回 慶讃法要回参》

先日、宗祖聖人御生誕りに感じられました。

八百五十年・立教開宗八百年の慶讃法要にご門徒の皆さんと行ってまいりました。つ、大勢の御門徒の方々と前回本山を訪れたのは教師を取得するための修練の時でしたので、大変久しぶりです。

お寺とともに

3年を過ぎて



この五月十七日、老院が亡くなってから、まる三年になります。

あの日、最後に訪問看護ですっかりお世話になった看護師さんが、「今は混乱しているけれど、いつの日か必ず笑顔のおじいちゃんを思い出すからね。」

と云ってくださいました。

それから、かなり長い間、介護の間の様々な出来事や未熟な自分の後悔ばかりが湧いてきて、なかなかおじいちゃんの笑った顔を思い浮かべることが出来ませんでした。が、最近少しずつですが、元気だったおじいちゃんのことを思い出すようになってきました。

何よりコロナ元年の五月、緊急事態宣言の中で密葬、七月までずれ込んだ本葬と忌明法要、どれも尽力くださった役員の方々のお陰様でした。その後、三回忌までの毎年の法要では、多くの御門徒の皆さまにお手伝いいただき、感謝の思いで胸が熱くなります。今は、どれも大切な思い出です。

コロナ自粛を乗り越え

蓮師会・護寺会総会開催

さる四月二十三日、二十四日の両日、順慶寺二大法要の一つ、蓮師会・総会が順慶寺にて半日の日程で厳修され、多くの参詣者でにぎわいました。

四月、コロナ禍もようやく下火になり、今回の蓮師会は、本堂の入室制限も撤廃し、コロナ禍以前の形式に戻した形で、法要を実施しました。ただ、政府の五類指定がなされる前であったため、お斎は弁当となり、お茶接待や午後の法要は中止としました。

蓮師会の両日とも絶好の晴天。本堂はほぼ満堂となり、法要は、まず蓮師会のお勤めから始めました。午前のみの法要でしたが、三十名ほどの助音講の皆さんが先導して、張りのあるお勤めをすることができました。

三年ぶりの護寺会総会

今年から、三年間自粛していた、護寺会総会を再開することになって、蓮師会に引き続き、会場を準備して総会になりました。総会の最初は、護寺会物故者の追甲会。自粛されていた、令和元年四月から令和五年三月までの物故者の法名を住職が総法名軸に書き足し、本堂北余間に掲げ、住職・若院・役僧の読経の中、遺族の皆さんが法名前焼香をしました。焼香をされた皆さんが、故人の法名を確認されるために法名前集まったため、法名前は一時人だかりとなりました。

新年番制度の開始

今回、初めて各地年番の皆さんに法要当日に集まっていたいただき、庫裏で法要に参加していただきながら、本堂に上がっていた、お華束の袋詰めをしていただきました。法要の雰囲気や内容を共有していただき、地域の皆さんにオサガリを配っていただくことに意義があると、住職が説明すると、皆さん納得してお参りくださり、法要終了後、オサガリを配布していただきました。

4月度護寺会物故者

積優院釋尼妙幸

4月10日寂 池田さち子(91)

山ノ端組 池田幸雄様の母

宣陽院釋桂林

4月17日寂 岡本 桂(88)

安城市 岡本孝一様の父

初参りと花祭りを開催

さる四月十五日、誕生児初参り式と花祭りを実施。三年ぶりの初参り式に誕生児は十一名の申込。家族も参加され、華やかな式となりました。その後、花御堂が飾られ、花祭りも行われました。当日、雨天のため、タケノコ掘りは中止となったのが残念でした。



初参り式にお参りするご家族(順慶寺本堂)

編集部短信

◆教化予算委員会開催 〓 さる四月十二日、令和五年度の護寺会予算を審議し、令和四年度の教化事業の見直しをする委員会が、各例会役員を中心とした教化委員によって開催された。席上、令和四年度教化白書が、事務局より呈示され、内容を了承した。希望者には、条件付きで白書の閲覧も許可される。

編集雑記

四月、本山の慶讃法要に、二回団参に出かけました。今回の法要は、すべてイ又席で、参詣者への配慮を感じました。また、御影堂から出る際には、参務直々に参詣者をお見送りをされて、その細やかな心配りに感心しました。こういった雰囲気、本山の至る所まで行き渡ると、宗門も開かれてくると感じました。(住)

護寺会追弔会点描



法名軸に見入る物故者の家族(順慶寺本堂)



焼香への行列

読経する若院



5月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	月	(有志)寺カフェ(9:00~、順慶寺南落間他) お楽しみ会(14:00、順慶寺本堂)	
2	火		
3	水	憲法記念日	
4	木	みどりの日	木-1
5	金	こどもの日	
6	土		
7	日		
8	月		
9	火		
10	水		
11	木		木-2
12	金		
13	土	助音講(16:00、順慶寺玄関)	
14	日	参門会(16:00、順慶寺玄関)	
15	月	同朋ゼミ(14:00、順慶寺玄関)	



16	火		
17	水		
18	木	真宗講座(19:00、順慶寺本堂)	木-3
19	金	21組同朋教室(13:30、順慶寺)	
20	土		
21	日		
22	月		
23	火		
24	水		
25	木		木-4
26	金		
27	土		
28	日	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	
29	月		
30	火		
31	水		
6/1	木	(有志)寺カフェ(9:00~、順慶寺南落間他)	

5月行事内容 詳細

岡崎教区第二十一組 同朋教室

5月19日(金)

午後1時30分、順慶寺本堂

講師 香蘭大尊長尾畑文正氏

講題「社会に関わる真宗」

会費 千円(二回通し)

富士松地域にある真宗寺院七ヶ寺で組織する、岡崎教区第二十一組の同朋教室が順慶寺を会所に開催されます。講師は、現在も中日新聞の宗教欄での執筆を続けられている、同朋大学学長の尾畑文正氏。尾畑先生は、今回初めて順慶寺に来寺されます。

お問合せ申込は、順慶寺まで(5月7日メ切)。
同朋教室は、毎年5月・6月の二回、七ヶ寺の回り持ちで開催されており、近々に帰敬式を受式された方も講座に参加されるように促しています。次回6月の開催は、6月21日に今川町の乗蓮寺で行います。

蓮師会特別寄進

タケノコ(北尾 相木国男様)、御仏供米60kg(今川西 塚本敬氏)、お斎用野菜(山ノ端 鈴木市成氏)、他多数

おしらせ

●北側スロープ工事開始

護寺会総会にて予算が承認されたことを受けて、境内北側入口のスロープの工事がゴールデンウィークを挟んで実施されます。工事期間は、スロープ付近は進入禁止となりますので、御参詣の皆さん、通行の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、よろしくお祈り致します。

●本堂の水受け排水工事について

護寺会総会の予算承認を受けて、

本堂北側屋根の雨受け部分の排水工事をします。参詣者の皆さんには、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお祈り致します。

●護寺会費等のお集めについて

護寺会総会の予算承認を受けて、護寺会費等のお集めを5月中旬より開始いたします。組のある地域については、年番を通じてお祈り致します。一軒ずつの方は、事務局より送付するコンビニ振替用紙でお願いします。

じゅんこのときめき歳時記

よもぎ

みなさん、いよいよ花の五月ですね。今年は、花の咲くのが早く、京都でも四月中にフジやハナミズキ、阜月などが咲いています。やはり、温暖化の影響でしょうか。

春には、草餅がよく出ていますね。小さいときは、ヨモギの少し癖のある匂いと苦みが嫌いでしたが、今は、アンの甘味がいいので美味しく感じます。しかし、ヨモギを最初に食べた人は、美味しいと感じたのでしょうか。

ところで、ヨモギの栄養は侮れないですよ。調べてみますと、食物繊維はホウレンソウの三倍、貧血予防

のクロロフィルが豊富で、発がん予防のβカロテン、ビタミンKなどが含まれているそうです。草餅で食べれば結構美味しいので、薬になるなら、太らない程度に食べてもバチは当たりませぬ。

餅草の

匂ふ葉をたたみぬ

室生犀星

